



主 題 名 携帯電話・インターネットと人権

教 材 名 送信ボタンはOK?

(参考資料/財団法人コンピュータ教育開発センター「ネット社会の歩き方」) <http://www.cec.or.jp/net-walk>

人権学習の視点 個別的な視点「さまざまな人権問題」

主題・教材について

近年、携帯電話やインターネットが急速に普及し、非常に多くの情報が容易に得られると同時に、コミュニケーション手段としても欠くことのできないものとなってきた。しかし、携帯電話やインターネットの匿名性を悪用した詐欺や犯罪などの事件が後を絶たない。また生徒が開設したブログやプロフに対して、特定の個人を誹謗中傷する内容の書き込みがされたり、嫌がらせのメールが送られたりするなど、人権侵害が多発している現状がある。携帯電話やインターネットによる人権侵害の実態を知らせ、画面の向こうには「心」を持つ人間がいることを常に意識して送信ボタンを押す態度を身に付けさせたい。

ね ら い

携帯電話・インターネットによる人権侵害について理解するとともに、人権侵害をしない利用の仕方について考え、行動しようとする態度を身に付ける。

本時の展開

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導 入	○アンケート結果から、学習に必要な内容を伝えておく。	一斉	○本時の学習課題を知る。	○事前にアンケートを実施し、集計した結果を、導入の資料とする。	アンケート結果
	<p>携帯電話やインターネットを使う時、どのようなことを心がける必要があるだろうか。</p>				
展 開	○携帯電話やインターネットの便利な点を考えさせる。	個別 一斉	○携帯電話やインターネットの便利な点をワークシートに記入し、発表する。 (例) 知りたい情報を誰でも簡単に手に入れることができる。世界中の人と交流できる。自分の意見や考えを発信できる。直接喋らなくてもいつでも連絡できる。友達と繋がっている感じがある。買い物ができるなど。	○生徒の意見を板書する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p><便利な点></p> <p>1 ネットいじめは人権侵害</p> <p>2 ネットで悪口が罪になる</p> </div>	ワークシート 項目①
	<p>事例1 「ネットいじめは人権侵害」を見て考えよう。</p>				
開	○他人の悪口等をネット上に流す行為の影響の大きさを考えさせる。	個別 一斉 個別 一斉	○BさんやDさんがCさんの写真を送った時の心のつぶやきを考え、ワークシートに書いて、発表し合う。 ○学校を休み始めたCさんの気持ちを考え、ワークシートに書いて、発表し合う。	○加害者にとっては「おもしろ半分、軽い気持ち」でやったことであり、誰でもこのような気持ちになる可能性があることをおさえておく。 ○加害者と被害者との事態の受け止め方は大きく異なることを理解させる。 ○人の心を傷付ける文章や写真をネット上に流すことは人権侵害であり、完全に回収することは不可能なことから、被害者は一生不安を抱き続けなければならないことをおさえる。 (例) 信頼できる情報とは限らない。誰が書き込んだかわからない。短時間で多くの人に伝わる。誰でも見ることができる。遠くへも伝えられる。一度広がると消せない。被害の回復ができない。個人情報の流出など。	資料集 「ネットいじめは人権侵害」 ワークシート 項目②-(1) ワークシート 項目②-(2)

展	○被害を受けたとき、どのように対処すればよいかを理解させる。	一斉	○自分が被害にあったときには、とにかく家族や先生にまず相談することの重要性を理解する。	○ネット上で被害にあったとき、まず家族や先生に相談すること、削除依頼をすることなどの解決方法を伝えておく。	
	事例2 「ネットで悪口が罪になる」を見て考えよう。				
開	○事実無根な情報を公表する行為の影響を考えさせる。	一斉	○腹が立ったからと、ブログに店のデマを書き込んだことが、加害者として訴えられる結果を招くことがあることを理解する。	○軽い気持ちで発信した誹謗中傷が、他人の生活を脅かす可能性があることをおさえる。(営業妨害、名誉毀損などで損害賠償を請求されることもある。)	資料集 「ネットで悪口が罪になる」
	携帯電話(インターネット)を利用するなかで、どんな事件が起こっているのだろう。				
まとめ	○携帯電話やインターネットによる事件について知らせる。	一斉	○携帯電話やインターネットによる事件の実態を知る。	★CDに入っている新聞記事資料は、授業のみの使用許可を得ている。 ○記事内容が事件の内容を具体的に記述しているので、生徒に配布する際には、十分配慮すること。	CD(新聞記事)
	人権を大切にしたい「携帯電話やインターネットの利用の仕方」について自分の考えをまとめよう。				
	○自分が人権侵害の加害者、被害者とならないためには、どのようなことを心がけて利用すればよいかを、考えさせる。	個別	○今日の学習を振り返って、感じたことや考えたことをふまえ、人権に配慮した、正しい利用の仕方を考える。	○画面の向こうに「人」がいること、また「不特定多数」の人が見られることを想定して、自分の考えや意見を発信する必要があることをおさえる。	「送信ボタンはOK?」ワークシート項目③

評価

携帯電話・インターネットによる人権侵害について理解するとともに、人権侵害をしない利用の仕方について考え、行動しようとする態度が身に付いたか。

<指導者参考資料>CDに収録

- 新聞記事3点 (顔見えぬ恐怖、ネットいじめ誰でも加害者に、学校裏サイトで中傷)
- 指導資料 (京都府教育委員会)
 - ① 掲示板について
 - ② 情報モラル指導について (指導事例)
 - 題材1: ネットで悪口は要注意
 - 題材2: 早く広くつたわる悪口
- 指導資料 (文部科学省)
 - 子どもの携帯電話等の利用に関する調査結果【ポイント】

